

技術研究組合次世代レーザー加工技術研究所(略称：ALPROT)の概要



設立年月日：平成22年5月20日

理事長：中井 貞雄（大阪大学 名誉教授）

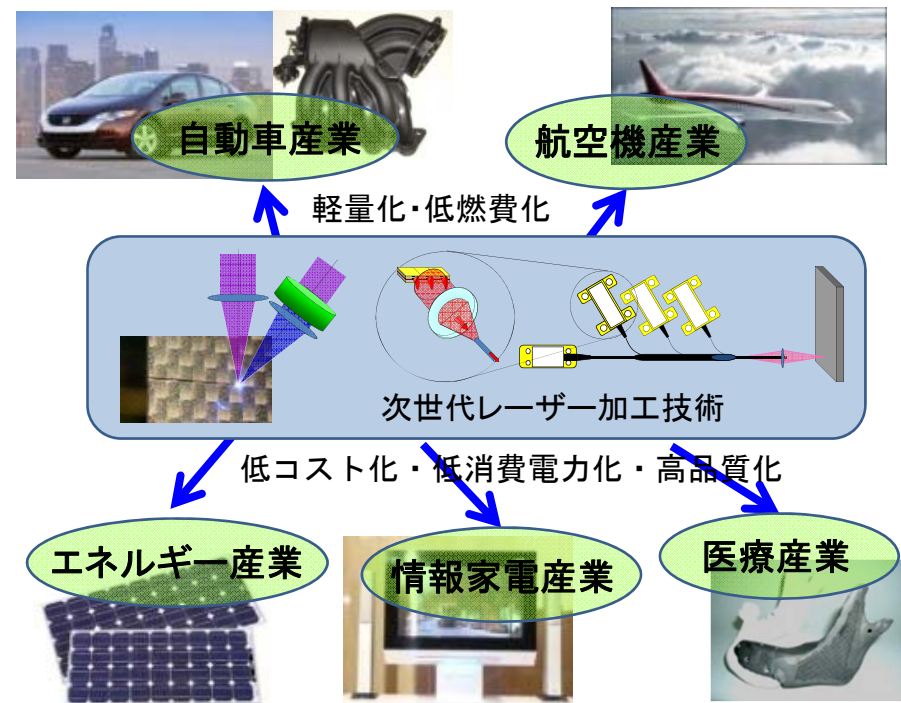
組合員：浜松ホトニクス（株）、（株）アルバック、古河電気工業（株）、ミヤチテクノス（株）、新日本工機（株）、（株）アスペクト、三菱化学（株）、（株）片岡製作所、（独）産業技術総合研究所、（公財）レーザー技術総合研究所、（一財）製造科学技術センター

【8企業、1独法、2団体】

事業費：平成26年度：3.8億円

事業の概要：高出力多波長複合レーザー加工基盤技術の研究開発及び事業化。

- 本技術研究組合では、個々の企業・研究機関が得意とする技術やノウハウを持ち寄り相互補完することによって、短時間かつ細密を実現可能な高度なレーザー加工技術の確立を目指し、「ユーザーニーズに適応した」かつ「国際競争力のある」レーザー発振器技術及びそれを搭載した加工システムを開発することを目的とする。
- 低炭素社会の実現に向けて、軽くて強いが加工難易度が極めて高い（工作機械で巧く削れない）炭素繊維材料等の新素材の加工や、太陽電池デバイス等の次世代製品の低コスト製造が必要となっている。
- 本組合で開発するレーザー加工技術により、自動車・航空機、エネルギー、情報家電、医療・介護等に幅広く寄与するものづくり基盤技術の強化が期待される。
- 事業化の目途に時期
本プロジェクトは、ユーザー連携を図りつつ開発を推進するため、プロジェクト終了年度（平成26年度）もしくは終了後数年で実用機開発を目指す。



● 研究開発体制

